



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

資料室 ニュース

Vol.38
2009年9月
●発行●

特集 企画展特集「災害文化を伝えることば」

今回は、企画展「「ぼ」は防災のぼ。～災害文化用語の基礎知識、編さん中!～」に関連し、ことばで災害文化を伝える資料をご紹介します。



企画展「「ぼ」は防災のぼ。～災害文化用語の基礎知識、編さん中!～」開催しています

3月3日より、当センター防災未来館2階(有料スペース)にて、企画展「「ぼ」は防災のぼ。～災害文化用語の基礎知識、編さん中!～」(開催期間:平成21年3月3日～4月26日)が開催されています。防災や災害に関連する「知っておいた方がよいことば」や「災害とともに生きていくための知恵」など35のキーワードをカルタ形式で紹介し、震災資料と合わせて展示しています。

「知っておいた方がよいことば」としては、例えば、「き…緊急地震速報」、「さ…災害用伝言ダイヤル171」など、阪神・淡路大震災以降に生まれたシステムなどを取り挙げています。また、「災害とともに生きていくための知恵」としては、「し…新聞紙」、「と…トイレ」など、一見災害と関係がなさそうなものも、災害時に役立つ使い方とともにご紹介しています。そして、来館者のみなさまにもことばの投稿をしていただき、災害文化を伝えることばや基礎知識を編さんしていくようになっています。

企画展にちなみ、今回の資料室ニュースでは、新着震災資料の中から「災害文化を伝えることば」に関係する資料を紹介します。ことばで震災を伝える資料から、震災当時の被災地の人々の思いをお伝えします。



企画展会場入り口



企画展の様子

※災害時に役立つ知恵も展示で紹介しています。



見学中の来館者

阪神・淡路大震災から14年目の今年1月17日、東京都在住の瀬川陽子さんより一袋の震災資料を寄贈いただきました。今回は、その中から避難所での特徴的なボランティア活動が生み出した378枚の「声かけ作戦報告書」を紹介します。

瀬川陽子さんの妹の智子さんは、神戸大学の大学院生でしたが、足を悪くしたことから休学し療養のため実家の東京に帰省していました。そんな時に大震災は起こりました。智子さんは、自分だけが難を逃れたとの罪悪感から地震10日後には被災地入りし、自分も何かしようと模索していましたが、足が完治していないことを理由に西宮市役所でボランティア登録を断られてしまいます。内心忸怩(じくじ)たる思いでいたところ、神戸市立六甲小学校で活動していたNGOアークスが展開していた「声かけ作戦」に誘われ、これなら自分にもできるとの思いで参加しました。「声かけ作戦マニュアル」には、〈被災者の不満の発散〉と〈きめ細かくニーズを把握すること〉が目的として書かれています。

一方、姉の陽子さんは、当時福祉関係の資格の勉強中で時間的な余裕がありました。2月には、智子さんの仕事を引き継ぐ形で神戸に駆けつけ、避難所に住み込んで活動に参加するようになります。その活動が「声かけ作戦報告書」を生み出しました。報告書のうち、陽子さんの書いたものの一部を紹介します。

◆3月12日【Aさん(57歳女性)／1階多目的ホール前にて】

おばちゃんは、学校から多目的ホールを出て欲しい旨をいわれたらしく、おばちゃんにしては珍しく怒り気味だった。「卒業式だか知らんけど、おばちゃんは何が何でも絶対出ていかへんからね!がんばるからね!」と言っており、何と答えていいかわからなかった。卒業式を前に多目的ホールを出ていかなければならないという現実が刻々と迫ってきており、多目的ホールの人々の表情も表面的にはにこにこしているようではあるが、どことなく空気がピリピリしているような気がしてならなかった。

避難所生活が長期化するにつれ、通常に戻したい学校側との軋轢(えんりく)があった様子がわかります。また、声かけは老若男女分け隔てなくおこなわれていました。報告書では、震災による子ども達の変化も捉えています。

◆3月29日【Bちゃん(8歳女児)／体育館にて】(右下写真参照)

「うち、3万円ためたんよ。そのお金とお母さんのお金をあわせて新しいお家を買う時に使うんや。無駄使いせんといて、今度のお正月のお年玉も併せて、お金ためるんや。」と一生懸命に話すBちゃんの姿に涙が出そうになってしまった。

また同日は、避難所で仮設住宅の抽選発表があったようです。一日でも早く避難所生活を終えたい被災者にとっては切実なものでした。その日の大人達の様子です。

◆3月29日【Cさん(女性)／1階廊下東にて】

仮設住宅の2次募集抽選発表の掲示板を見ていらした。見終って、ベンチで煙草を一服なさろうというところで、「お久しぶりです。どないでした?」と声をかけた所、「あかんかった。」と苦笑なさっていた。食欲だけがないということだった。

声かけ作戦のメンバーには、専門家はいなかったのが、カウンセリングセミナーに参加し勉強するなど試行錯誤の日々であったようです。陽子さんは、今でも当時交流のあった住民の方と年賀状のやりとりが続いています。また、智子さんも大震災の経験から、大学院での研究テーマを大きく変更し、大震災時の海外援助について修士論文を執筆しました。

この報告書は、後になって体験を回想記的にまとめた資料とは異なり、避難所での人々の様子を同時進行的に記録にとどめた貴重な資料と言えます。報告書からは、被災者を取り巻く状況が刻々と変化していく様子が読みとれます。



声かけ作戦報告書
資料番号:0000423-001006

ことばで災害文化を伝える資料② 一被災者の生の声をよむ一

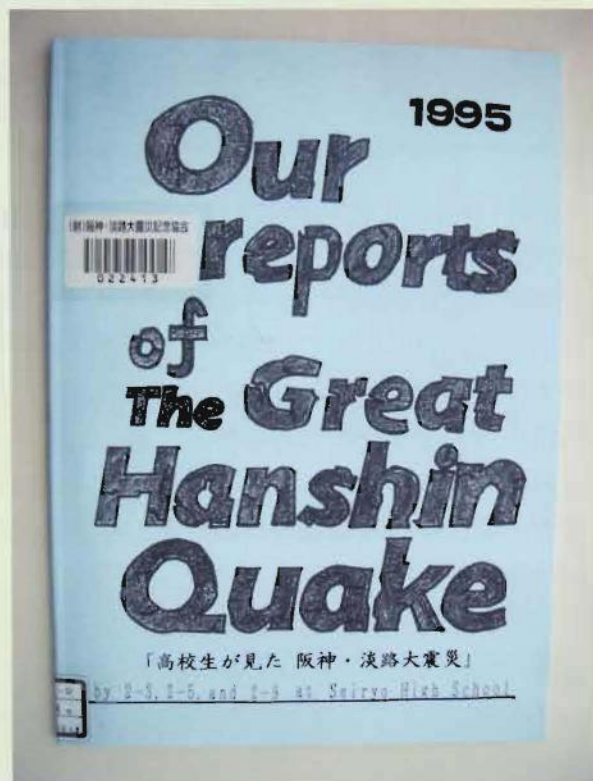
震災14年目にあたる今年1月17日にあわせて、藤谷紅子さんより『Our reports of The Great Hanshin Quake「高校生が見た阪神・淡路大震災」』を寄贈していただきました。

藤谷さんは震災当時、兵庫県立星陵高校にて2年生の英語クラスを受け持っており、半年後の1995年8月に震災を振り返る文章を授業で書かせました。当時は受け持ちクラスの子どもたちにだけ文集を配ったそうですが、震災から14年経過し、震災を経験しない子どもたちが増えた今、体験を語り継いでいくことの重要性を感じてこの本を作られました。

今回あらたに編集するにあたり、日本語訳や当時の状況がわかる資料が加わりました。

英語の授業など、教育の場で活用してもらえたらとおっしゃっています。そのため、子どもたちの名前は伏せて、かわりに被災した地域が書かれています。

被災体験を英語で読む事ができる本は少なく、日本に住む英語圏の人々にも震災について身近に感じ、読んでもらえる1冊です。



Our reports of The Great Hanshin Quake
「高校生が見た 阪神・淡路大震災」
資料番号:5-D/キョ/31833



震災資料の横断検索ができるようになりました

2009年1月より、人と防災未来センターの所蔵資料と神戸大学附属図書館震災文庫の所蔵資料の横断検索ができるようになりました。ご自宅のパソコンから、人と防災未来センターと震災文庫の資料を一括して検索することができます。また、検索対象は随時更新していく予定です。

詳しくはセンターホームページ (<http://www.dri.ne.jp/shiryo/index.html>) をご覧ください。

第9回 阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する地域連携研究会

2月19日に人と防災未来センターにて「第9回阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する地域連携研究会」（主催：神戸大学文学部地域連携センター）が開かれました。研究会では、まず神戸大学都市安全研究センターの林氏から、小中学校での防災副教材「幸せ運ぼう」を用いた震災経験の継承と教育についての報告があり、震災資料を用いた教材作成の事例が紹介されました。次に神戸大学附属図書館の中山氏から、2009年1月に開始した、震災文庫と人と防災未来センターとの資料横断検索についての報告がありました。加えて他機関との横断検索の準備態勢も整っているというお話もありました。最後に当センター資料室より、センター所蔵の震災資料の収集・整理・公開などの現状や課題の報告がありました。各報告後、資料の公開や横断検索についての質疑応答などが活発になされました。

発表者と発表題目は以下のとおりです。

林大造氏（神戸大学都市安全研究センター）

「震災経験の継承と教育

－神戸市の防災副教材「幸せ運ぼう」の場合」

中山貴弘（神戸大学附属図書館電子図書館係）

「震災資料の共有化をめざして－横断検索の試み」

高野尚子（人と防災未来センター資料室）

「人と防災未来センター資料室の現状と課題」



<研究会の様子>

お知らせ

ホームページリニューアルについて

4月にセンターホームページ内の資料室のページをリニューアルします。
「所蔵資料の概要」、「利用案内」、「写真の貸出」等のページを新設・更新します。
資料室利用の手引きとしてご覧ください。



【資料室トップページ】 <http://www.dri.ne.jp/shiryo/index.html>

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター 資料室（防災未来館5階）

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062

HPアドレス <http://www.dri.ne.jp>

開室時間 9:30～17:30

開室日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日） 12月29日～1月3日

資料室は無料で
ご利用いただけます